

事業概要

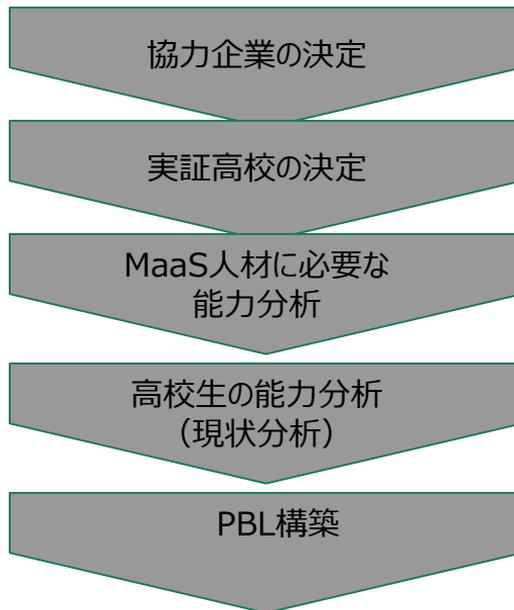
産業界(自動車業界)で求められる コンピテンシーから逆算したPBL (×三重県教育委員会)

自動車産業をモデルとし、今後必要とされる
資質・能力を育成するためPBLの要件定義と
講座、評価システムを構築します。
具体的には、三重県の高校を舞台に以下を
実施します。

- 各生徒の現状の資質・能力をビッグデータとAIで評価し、産業界で今後必要とされる資質・能力とのギャップと可視化する
- その上で、生徒と企業がともに取り組む機会を創出し、革新的な能力開発技法による生徒主体の教育プログラムを開発する
- そのプログラムを実証するなかで、学校と地域社会連携する上での課題の抽出や効果測定を実施する

進捗状況と今後の展望

【現在までの流れ】



【今後の流れ】



参考①) Institution for a Global Society株式会社

「未来の教室」実証事業 第1回研究会

現状の課題（教育と評価、人材育成、社員の高齢化、地域の人口減、大都市への人口流出など）を共有・整理した上で、プロジェクトのテーマおよびプロジェクト成功の根幹を握る「課題解決型学習」の授業案と評価方法について関係者ですり合わせ。



実施日：平成30年9月27日（木）

場 所：三重県庁7階 教育委員室

参考②) Institution for a Global Society株式会社

協力校（三重県立亀山高等学校）でのGROW受検

高校1年生120名を対象に実施。各生徒の気質と7つのコンピテンシー（課題設定、自己効力、柔軟性、表現力、共感・傾聴力、影響力の行使、地球市民）を計測。授業案作成に向け高校生の現状を把握するとともに伸ばすべきコンピテンシーを明確化。

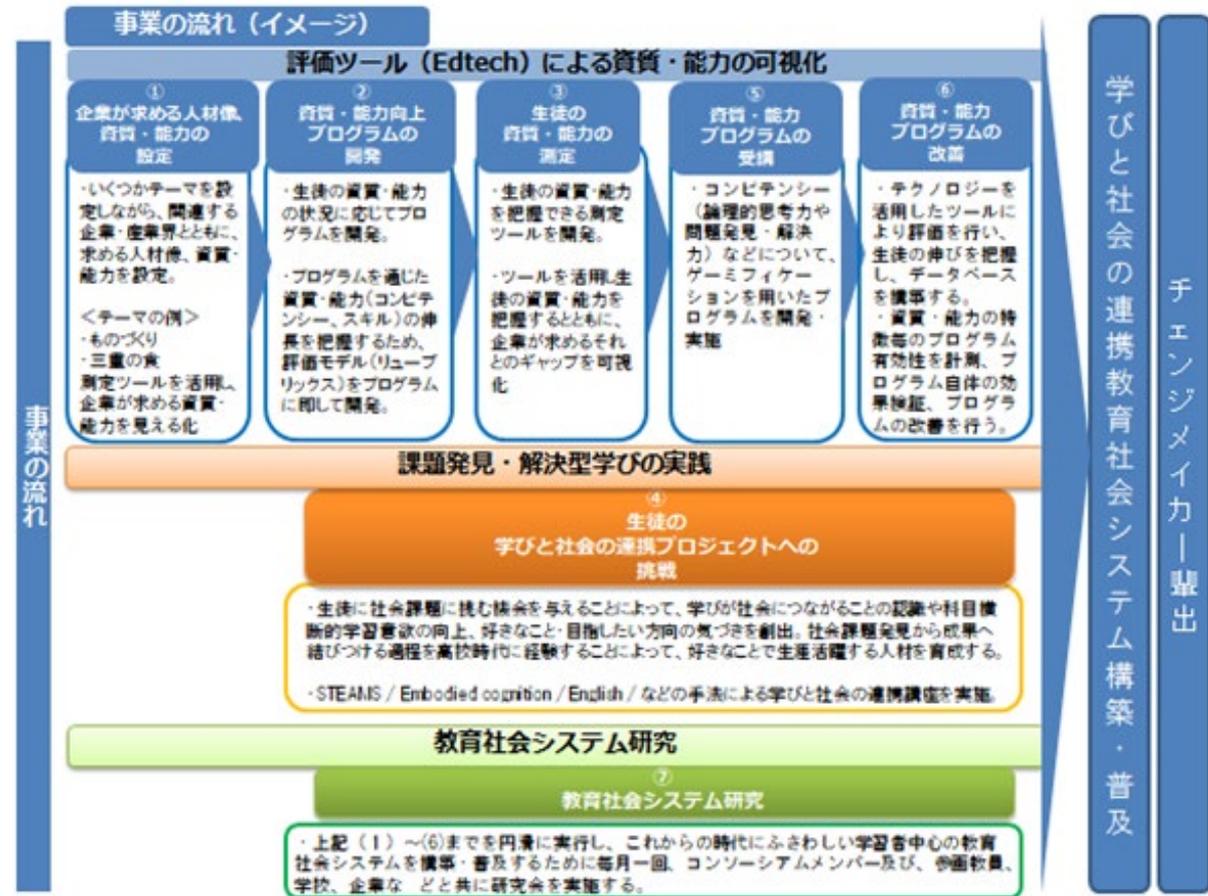


実施日：平成30年10月9日（火）

場 所：三重県立亀山高等学校

参考③) Institution for a Global Society株式会社

事業全体像



学びと社会の連携教育社会システム構築・普及

チェンジメイカー輩出